

業界初の国内防爆検定合格製品！

**ゾーン1^{※1}・ゾーン2^{※2}の危険場所で使用可能な
侵入・存在検知を行う安全・安心の防爆マットスイッチを新発売**

IDEC 株式会社（代表取締役会長兼社長：松木 俊之）は、業界初となる防爆エリアで使用可能な防爆マットスイッチを、9月6日（金）より日本で発売いたします。

近年日本の生産現場では、熟練工の減少などから、安全機器の設置による労働災害の防止が喫緊の課題となっています。しかし可燃性ガスや液体が存在する危険場所では、現場の安全を確保するため、通常の安全機器ではなく、防爆エリアでも使用可能な防爆製品が必要不可欠となります。

今回発売する防爆マットスイッチは、2018年7月に買収し、2019年4月に IDEC 株式会社に吸収合併した東京センサブランドのマットスイッチと、IDEC の安全保持器（リレー・バリア）をベースに構成した製品です。（マットスイッチは、人やモノの侵入や存在を検知し、安全を確保するための製品です。）長年の実績と高い品質を持つ双方の強みやノウハウを活かし、防爆マットスイッチ専用の安全保持器「EB3C形」3台と組み合わせることで、マットスイッチとしては業界で初めて国内防爆検定を取得しました。安全保持器については、交流電源電圧と直流電源電圧に対応したものをラインアップしています。

ゾーン1、ゾーン2の防爆エリアでも使用可能な本質安全防爆構造^{※3}を実現していることから、自動車や半導体製造装置、食品・医薬機械のほか、印刷業界や化学プラントなど、危険場所がある幅広い業界で安全・安心にお使いいただけます。



防爆マットスイッチ「MSE形」
（危険場所設置）



専用安全保持器「EB3C形」
（非危険場所設置）

※1：ゾーン1とは通常の状態において爆発性雰囲気をしばしば生成する可能性がある場所

※2：ゾーン2とは通常の状態において爆発性雰囲気を形成する可能性が少なく、生成した場合でも短時間しか持続しない場所

※3：本質安全防爆構造とは、正常時および事故時に発生する電気火花、または高温部により、爆発性ガスに点火しないことが公的機関において確認されたエネルギー制限構造

主な特長

マットスイッチとしては業界で初めて国内防爆検定に合格

- ・ 防爆マットスイッチ専用となる安全保持器「EB3C形」3台と組み合わせ、**業界で初めて国内防爆検定に合格**しました。本質安全防爆構造により、多様なシーンで安全・安心に使用できます。

※安全保持器3台の内、1台はマットスイッチのON/OFF用、2台は断線検知用

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画部 コーポレートコミュニケーション担当 元山理映子

(TEL) 06-6398-2505 (Email) r.motoyama@jp.idec.com

最大 8 枚までの防爆マットスイッチを連結可能

- ・ 最小 300×300mm から、最大 1,000×3,000mm までのサイズに対応可能です。
本質安全防爆構造の 1 回路当たり最大 8 枚まで連結でき、正方形や長方形など、**現場に最適な形にカスタマイズ**することができます。

導電性のゴムマットを採用

- ・ 防爆マットスイッチのマット素材には、点火源となる静電気防止対策として、帯電しない導電性のゴムを使用しており、安全にお使いいただけます。

主な仕様

システム機器構成	防爆マットスイッチ+専用安全保持器 3 台
防爆構造	本質安全防爆構造
設置場所	ゾーン 1、ゾーン 2 (マットスイッチ)
防爆性能	Ex ib II B T4 Gb (マットスイッチ)、[Ex ib] II B (安全保持器)
サイズ	300×300mm (最小) ~1,000×3,000mm (最大)
連結枚数	マットスイッチ最大 8 枚まで
リード線	4 線式 10m 以下
材質	マット：耐油性導電ゴム、表面凹凸なしフラット (黒色)
使用温度範囲	-10℃~+50℃
保護構造	IP20

※連結や延長を行う場合は、必ず IP20 以上の金属製の接続ボックスを使用して配線する必要があります。

主な用途

自動車、半導体製造装置、食品・医薬機械、印刷業界、化学プラントなど。

以上